

令和3年度          芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「Joy of Music」(教育芸術社)						
副教材等	「Music Navigation」(教育出版)						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

楽器の演奏や歌唱の上達には時間と根気が必要です。また、自分の技能・表現方法に対して客観的に考える力が必要となります。明確な目標を持って取り組む姿勢が大切です。

2. 学習の到達目標

音楽Ⅲでは、①器楽(打楽器・管楽器・弦楽器・鍵盤楽器)の独奏とアンサンブル②歌唱(日本歌曲・西洋歌曲・合唱)③鑑賞④音楽理論⑤創作を実施。グループワーク(アンサンブル)では、個人の演奏能力を生かし、質の高い楽曲演奏ができることを目標とする。また、器楽の学習では、ピアノ演奏法の学習を行うため、各自練習が必要となる。

3. 学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	・取り組む姿勢 ・プレゼンテーション ・鑑賞シート ・ワークシート	・実技試験 ・プレゼンテーション ・グループワーク	・実技試験 ・ワークシート ・プレゼンテーション	・実技試験 ・鑑賞シート ・取り組む姿勢 ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	・オリエンテーション ・器楽アンサンブル① ・鑑賞 ・歌唱 ・ピアノ実技	・アンサンブル奏(三重奏)を行う。 ・様々な国の楽曲の鑑賞を通して、より広い知識に基づき、他者を尊重する態度を育成する。 ・西洋歌曲の歌唱や鑑賞を通じて、様々な表現法を学び、演奏する。 ・ピアノ演奏の基礎を学ぶ。	○	○	○	○	a:音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。  b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。  c:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。  d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	実技試験 鑑賞シート ワークシート
2	・器楽アンサンブル② ・鑑賞 ・歌唱 ・ピアノ実技	・アンサンブル奏(四重奏)を学習する。 ・様々な国の楽曲の鑑賞を通じて、より深い知識とともに、他者を尊重する態度を育成する。 ・合唱曲を学習し、声によるアンサンブルを学ぶ。 ・ピアノ演奏の基礎を学ぶ。	○	○	○	○	a:音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。  b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。  c:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。  d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	実技試験 鑑賞シート ワークシート
3	・器楽アンサンブル③ ・鑑賞 ・歌唱 ・創作 ・ピアノ実技	・アンサンブル(管・弦・打楽器)を学習する。 ・鑑賞(3曲)を通じて、より深い知識とともに、自分と異なる意見を尊重することを学ぶ。 ・創作活動の実施と記譜を学ぶ。 ・ピアノ演奏の基礎を学ぶ。	○	○	○	○	a:音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。  b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。  c:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。  d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	実技試験 鑑賞シート ワークシート

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度 b:音楽表現の創意工夫

c:音楽表現の技能      d:鑑賞の能力

### ※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。